

EMT981 再生系の再構成(5)

1. はじめに

EMT981 再生系の再構成の機会に CD からの DSD 録音を実施して音質を確認します。その際、位相反転の結果も確認します。

2. EMT981 の設置と試聴方法

EMT981 から TruPhase までバランス伝送になっており、そのまま DA-3000 で録音します。

EMT981(GMP-777 よりクロック入力)→TruPhase→BACU-1000→DA-3000
録音対象の CD は下記のもので、TruPhase での位相反転の有無での録音を行います。

PROPRIUS PRSACD 7762

CANTATE DOMINO

JVC PR27952XRCD

ハリー・ベラフォンテ カーネギーホール

比較のためにアナログ盤の録音も下記の経路で実施しました。

LINN LP-12→ZANDEN Model 120→Brooklyn DAC+ (LINE)→

→TruPhase→ BACU-1000→DA-3000

録音対象のアナログ盤は下記のもので、ZANDEN Mode 120 において、イコライザーカーブ、位相、第 4 時定数を替えて録音します。これらの条件選択は ZANDEN から提供されたリストを参考にしています。

PROPRIUS PROP 07762

CANTATE DOMINO

RIAA 正相 第 4 時定数 High

TELDEC 逆相 第 4 時定数 Mid

RCA SRA 5190-91

ハリー・ベラフォンテ カーネギーホール

RIAA 正相 第 4 時定数 High

EMI 逆相 第 4 時定数 Low

3. EMT981 録音音源の試聴結果

最初に、上記 CD およびアナログ盤を再生して聴いておきます。

CANTATE DOMINO の CD は、2003 年に SACD/CD として発売されたものです。

TruPhase で位相反転しますと、定位が曖昧になり、合唱の分離が悪くなります。位相反転させない方が、定位がしっかりして、合唱もオルガンもブラスも音像が明瞭です。

ハリー・ベラフォンテの CD は、位相反転しますと、ベラフォンテの声が中心により、楽器の音像も明瞭になり、ホールの残響音もはっきりしてきます。位相反転させないと、ベラフォンテの声が広がり、楽器の音像もぼやけます。

CANTATE DOMINO のアナログ盤は、RIAA、正相、第 4 時定数 High では、オルガンも合唱も分離が悪く濁ります。TELDEC、逆相、第 4 時定数 Mid では、オルガンも合唱も分離が良くなり、声や音の芯がしっかりして、残響の豊かな教会録音であることが分ります。

ハリー・ベラフォンテのアナログ盤は、RIAA、正相、第 4 時定数 High では、ベラフォンテの声や楽器の音がぼやけ気味です。EMI、逆相、第 4 時定数 Low では、ベラフォンテの声や楽器の音が自然でバランスよく明瞭になり、ホールの残響も明瞭になります。

ついで DSD 録音したものを、fadata HFAS1-S10 にコピーして Brooklyn DAC+経由で聴いていきます。

CANTATE DOMINO の CD からの録音と CANTATE DOMINO の CD からの位相反転した録音をセットで聴いていきましたが、CD の再生と同様、前者の方が音像の焦点が合い、合唱の濁りが少ない印象です。

ハリー・ベラフォンテの CD からの録音とハリー・ベラフォンテの CD からの位相反転した録音をセットで聴いていきましたが、CD の再生と同様、後者の方が、ベラフォンテの歌唱位置が明瞭で、ベースの弾み具合も明瞭です。

CANTATE DOMINO のアナログ盤からの RIAA、正相、第 4 時定数 High での録音と CANTATE DOMINO のアナログ盤からの TELDEC、逆相、第 4 時定数 Mid での録音をセットで聴いていきましたが、アナログ盤の再生と同様、後者の方が、合唱やオルガンの濁りが取れ、分離がよくなっています。

ハリー・ベラフォンテのアナログ盤からの RIAA、正相、第 4 時定数 High での録音とハリー・ベラフォンテのアナログ盤からの EMI、逆相、第 4 時定数 Low での録音は、アナログ盤の再生と同様、後者の方が、バランスよく、ベラフォンテの歌唱の位置が明瞭で、歌詞もはっきりし、ベースの弾みもしっかりし、ホールの残響音もよく聴き取れます。

4. まとめ

CD およびアナログ盤とも、DSD 録音音源は、元音源のイコライザーカーブや位相の印象を受け継いでいることが分りました。なお、CANTATE DOMINO のアナログ盤は逆相のようですが、対応する CD は正相のようであり、SACD/CD 製作時のリマス

タリングの際、調整がなされたもようです。

以上